

2020年度 焼津福祉文化共創研究会 事業報告書

活動テーマ：港地域の福祉課題を「見える化」するご近所福祉の意識と実態を検証

1. 事業実施期間 4月1日 ～ 3月31日
2. 活動範囲 焼津市港地域づくり推進会管内（港第14・23自治会 約5,000世帯の中学校校区）
3. 会議・研修会等
 - (1) 定例研究会 6回（9月以降2月まで（毎月第2土曜日 19:00～21:30））
 - (2) 自治会関係者会議 4回（9月より12月まで・毎月25日 19:00～20:00）
 - (3) 町内会関係者会議 5回（9月から1月まで・毎月10日）
 - (4) 調査研究部会 5回（7月から1月まで、7/21 8/8 8/30 10/3 11/11）
 - (5) 公開型研修会 2回（11/15 2/28 13:00-16:00）

*会議・部会は、港第14自治会管内 第12町内会 北川原公会堂中心に開催

*研修会は、焼津市石津コミュニティ防災センターで開催

4. 「一人・家族・地域がつながり合う、これからの“福祉力”を探る ―ご近所福祉その意識と実態調査」実施

(1)調査の目的

「焼津福祉文化共創研究会」は、2016～2018年度の3年間にわたり、住民主体の「港地域ささえあい講座」（約5,000世帯の中学校校区・公民館を拠点とする、2つの自治会組織で構成する地域）に取り組み、この講座に関わった実行委員有志と市民により、2019年度に「生活圏域の福祉問題に取り組む志縁団体」として発足した。初年度（2019年度）は「居場所検証」として、既存の市民主体の団体・グループの現状把握に取り組み「港地域の居場所検証報告書」として取りまとめた。

今回の調査研究活動は、厳しいコロナ禍を契機に、これまでのご近所の支え合いから、これからの支え合いについて、「静岡福祉文化を考える会」との協働活動により、全県域と焼津市港地域の地域性をもとに住民の意識と実態を把握し、これからの「港地域のご近所福祉」のあり方について、調査個票の作成検討をはじめ、調査協力依頼、回収、データ入力・考察等のプロセスを住民主体で取り組み、これからの港地域の課題を整理し、その改善・解決に向けた提言を取りまとめることを目的に実施する。

(2)実施主体 焼津福祉文化共創研究会

(3)協働団体 静岡福祉文化を考える会

(4)対象 焼津市港地域づくり推進会管内の20代以上の方々を対象に、年代・世代・領域等を考慮して、約150名程度の回収を目標に実施したが、345名の回答を得た。

(5)調査項目

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|
| (1) 基本属性(1) | (4) 地域参加の動向(15.16.17.18.19.20.21.22) |
| (2) 地域との関わりの意識(2.3.4.5.6.7) | (5) 地域環境(23.24.25.26.27.28) |
| (3) 地域との関わりの実態(8.9.10.11.12.13.14) | (6) 提言(自由意見)(29) |

(6)調査展開

- | | | |
|----------------|---------------|--------------------|
| (1) 調査項目・調査票検討 | 6月～9月 | 定例会・委員会及び調査研究会等で検討 |
| (2) 調査票まとめ | 9月30日 | |
| (3) 調査依頼(実施期間) | 10月1日～11月10日 | ※調査時点 10月1日 |
| (4) 回収期間 | 10月1日～11月18日 | |
| (5) 入力期間 | 10月1日～11月18日 | |
| (6) 分析・考察 | 11月18日～12月23日 | 定例会・委員会及び調査研究部会で実施 |
| (7) 公表・報告 | 令和3年2月 | |

① 本会研修会及び関係機関・団体等の各種研修会で経過報告実施

② 「焼津福祉文化共創研究会通信」で随時経過・概要を紹介

5. 調査報告書「ご近所福祉その意識と実態調査報告書」の作成（A4版 80P 200部作成）

(1)ページ仕立て

・はじめに 人・家族・地域がつながり合う、これからの“港地域の福祉力”を探る	1P
・目次	1P
・内容	
第1章 調査の概要	5P
1. 調査実施意図 2. 調査方法と調査日 3. 調査票の形式及び調査項目	
4. 調査対象と調査票の発送 5. 調査実施機関 6. 調査協力 7. 回収状況	
第2章 サンプル構成／基本属性	4P
1. 性別 2. 世代別 3. 結婚歴 4. 職業別 5. 居住形態別 6. 居住歴別	
7. 地域別 8. 地域形態別 9. 家族構成別	
第3章 調査結果	47P
1. 基本属性	
2. 地域との関わりの意識	
3. 地域との関わりの実態	
4. 地域参加の動向	
5. 地域環境	
6. 提言(自由意見)	
第4章 調査のまとめ	5P
第5章 資料編	
*事業経過記録 *2020年度活動計画 *調査実施要項 *調査票	
*研究会通信12回 *研究会要覧(会員名簿) *研究会規約	17P

(2)配布計画

(1)配布領域区分

①会員	13部
②市社会福祉協議会	5部
③調査協力者・研修会参加者	60部
④マスコミ	15部
⑤地区民協	24部
⑥港地域づくり推進会(14・23自治会)	45部
⑦港管内福祉施設連絡会	13部
⑧予備	24部
	計200部

6. 広く、本事業を関係機関・団体及び地域住民に広報啓発するため、「焼津福祉文化共創研究会通信」を4月から3月まで、毎月計画的に発行し配布(配信)した。

特に、「協働」を掲げる本会は、下記の関係機関団体に配布・配信に努めた。

- (1) 日本福祉文化学会 ・HP 関連の日常的連携維持
- (2) 静岡福祉文化を考える会 ・「ご近所福祉調査」関連協働作業継続 ・HP 連携維持
- (3) 港第14自治会第12町内会関連 ・定例居場所開所・歳末助け合い・助成事業協力
- (4) 静岡県コミュニティづくり推進協議会関連 ・助成事業日常的連携維持(通信送信)
- (5) 焼津市V連絡協議会関連(通信配布)
- (6) 自治会及び地区民生委員児童委員協議会関連(通信配布)
- (7) 管内福祉施設連絡会関連(通信送信)
- (8) 港公民館(港地域づくり推進会)関連(通信送信)
- (9) 焼津市社会福祉協議会関連(通信送信)

(10)焼津市行政関連(地域包括ケア推進課・地域福祉課)(通信送信)

7. 「静岡福祉文化を考える会」との連携のもと、「日本福祉文化学会 HP」と「焼津福祉文化共創研究会ブログ」のリンクが、7月の日本福祉文化学会理事会で承認され、その後 8/3 以降、本会の活動状況を広く啓発できるようになった。

8. 今年度の事業に関わった関係人員は、延べ 704 人

内訳：	1. 調査協力者	345名
	2. 自治会関係者会議 4回×17名	68名
	3. 町内会関係者会議 5回×11名	55名
	4. 民生委員児童委員協議会関係者会議 3回×24名	72名
	5. 公開型研修会参加者 (第1回26名 第2回30名)	56名
	6. 調査研究部会 5回×6名	30名

◇定例研究会参加者(通算 12回)

延べ 110名

9. 経過記録

月 日	活 動 内 容
03/28	・第12回(3月)定例研究会開催(本事業総括と令和2年度活動計画協議)
04/08	・「研究会通信第7号」編集作業・発行 関係機関・団体等にPCメール送信・配布
04/11	・4月(第13回)定例研究会開催「2020年度共同募金助成事業」申請協議
04/13	・「令和元年度検証報告研修会」(5/31 石津コミセン)の延期決定に伴う、関係機関・団体(港地域づくり推進会・港公民館、焼津市社協、県コミュニティ推進協議会、港地区民協、福祉施設連絡会、各自治会等)への連絡実施
04/29	・「研究会通信第8号」編集作業・発行 関係機関・団体等にPCメール送信実施
05/05	・焼津市共同募金地域福祉促進事業助成事業申請書作成作業(～5/16)
05/16	・5月(第14回)定例研究会開催
05/25	・静岡市清水区由比 現地訪問研修(地区社協による地域のささえあい活動)で本会活動紹介 ・焼津市の「協議体」の取り組みについて市行政に問い合わせをする
05/26	・HPに関する連絡調整(日本財団 CANPAN 更新作業に関して)
06/01	・「焼津市共同募金地域福祉促進事業助成事業申請書」市社協に提出 ・焼津市の「協議体」の取り組みについて社協担当者に問い合わせをする
06/06	・令和2年度主な活動「ご近所福祉その意識と実態調査」実施要項・調査票検討作業 ・「研究会通信第9号」編集作業・発行 関係機関・団体等にPCメール送信実施
06/11	・6月(第15回)定例研究会開催
06/13	・「ブログ」立ち上げに関する連絡調整 ・「令和元年度検証報告書」を55協力団体・グループに配布作業実施
06/15	・「研究会通信第10号」編集作業・発行 関係機関・団体等にPCメール送信実施 ・港地域の特性資料収集作業(港公民館、港第23自治会等)
06/16	・「令和2年度2年次コミュニティ活動集団助成交付手続き書類」作成提出 ・6月定例地区民協会議に「研究会通信第9号」配布依頼 ・静岡福祉文化を考える会「委員会」にて、今年度調査研究事業を「研究会」と協働で取り組むことを確認する

06/17	・現在までの「日本財団 canpan」登録作業に関する連絡調整
06/21	・静岡県コミュニティづくり推進協議会より、活動集団に対する「アンケート」回答依頼 有 折り返し「回答」する。(コロナに関する活動状況)
06/27	・助成事業関連団体(静岡県コミ推協、焼津市社協)へ活動状況報告
06/29	・「研究会要覧」作成 ・「ご近所福祉その意識と実態調査」項目検討作業(～7/10)
06/30	・「日本財団 canpan」登録作業継続 本日までに 評価★★★★★ ・第1回 IT 部会開催 ・「日本財団 canpan」の登録データ入力継続作業実施の結果、評価★★★★★
07/01	引き続き、データ入力作業をし、「第三者認証マーク取得」をめざす
07/08	・「ご近所福祉その意識と実態調査」に関する実施要項及び調査票内容検討継続作業
07/10	・7月(第16回)定例研究会開催 ・「焼津福祉文化共創研究会」「日本財団 CANPAN」データ入力に関する連絡調整 ・「研究会通信第11号」編集作業・発行 関係機関・団体等にPC メール送信実施
07/11	・6月定例地区民協会議に「研究会通信第10号」配布依頼 ・今年度初めての「焼津市V連代表者会議(7月)」開催 出席
07/16	「本会要覧」「研究会通信第9・10号」を23団体と社協に配布
07/15	・「ご近所福祉その意識と実態調査」調査個票組み立て作業(～8/8)
07/18	・焼津市共同募金助成事業決定通知書届く ・焼津市共同募金助成事業決定に伴う「概算請求書」等、提出すべき書類を焼津市社会福祉協議会に提出 ・日本福祉文化学会理事会(オンライン会議)にて、「日本財団 CANPAN 登録」に伴う「静岡福祉文化を考える会」「研究会」と「学会HP」リンクについて承認を得る。 また、本会及び考える会との「協働」による「ご近所福祉その意識と実態調査」の実施を紹介し、「地方発 福祉文化の創造」についてその意義を強調する。
07/19	・「ご近所福祉その意識と実態調査」項目修正検討継続作業実施(～8/7) ・助成事業関連団体(静岡県コミ推協、焼津市社協)へ活動状況報告 ・令和2年度2年次コミュニティ活動集団助成金」振込あり ・「みずほ教育福祉財団」助成事業(「静岡福祉文化を考える会申請」決定による「プロジェクト」)器材納品及び説明会開催
07/20	
07/21	・第2回 IT 部会開催
07/31	・「研究会通信第11号」発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施
08/01	・8月(第17回)定例研究会開催 ・助成事業関連団体(静岡県コミ推協、焼津市社協)へ活動状況報告 ・「市V連意見書」を市社協を通じて提出
08/06	・「ご近所福祉その意識と実態調査」調査個票組み立て作業(～9/12)
08/08	・第3回 IT 部会開催
08/09	・「日本福祉文化学会」「静岡福祉文化を考える会」「焼津福祉文化共創研究会」との
08/13	HP, ブログアップ作業(～9/12) 「gmail」アドレス作成作業実施 ・学会広報担当者に「研究会第11号」送信し、学会HPにアップ依頼
08/14	・8月定例地区民協会議で「研究会通信第11号」配布依頼 ・8月港第14自治会町内会長会議にて、調査協力(9月25日説明時間申し出)、「みなと いしづ自治会広報誌」は「ささえあい講座ブログ」に立ち上げている(確認)、
08/15	5/31 開催予定の「検証報告研修会」が延期となっているが、11/15 開催予定(協力
08/16	依頼)

08/25	<ul style="list-style-type: none"> ・調査票再組み換え作業実施(～8/29) ・焼津市V連より連絡事項あり、9/19V連代表者会議中止 ・学会・稲田氏より、「研究会通信第12号」学会HPに立ち上げた旨連絡有 ・調査票最終仕上げ作業
08/26	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所福祉その意識と実態調査報告書」作成企画書作成
08/27	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所より「全市の協議体の状況」資料入手
08/28	<ul style="list-style-type: none"> ・大日三協株式会社との連絡調整(報告書印刷製本費見積依頼)
08/29	<ul style="list-style-type: none"> ・大日三協株式会社「報告書作成企画書」を送付し、正式に「印刷製本費見積書」提出依頼
08/30	<ul style="list-style-type: none"> ・大日三協株式会社担当者との協議(見積書、作業工程表について協議)
08/31	<ul style="list-style-type: none"> ・第4回IT部会開催
09/01	<ul style="list-style-type: none"> ・現在までの「日本財団 canpan」登録作業に関する連絡調整 ・助成関連団体へ状況報告(静岡県コミュニティづくり協議会・焼津市社会福祉協議会)
09/12	
09/13	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究会通信第12号」編集発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施
09/15	<ul style="list-style-type: none"> ・9月(第18回)定例研究会開催 継続的に日々、各種ベータ入力作業実施
09/16	<ul style="list-style-type: none"> ・「ご近所福祉その意識と実態調査」調査個票及び要項印刷・配布作業 ・港地域づくり推進会宛に「ご近所福祉その意識と実態調査」協力依頼文書提出
09/23	<ul style="list-style-type: none"> ・港地区定例民協会議において「ご近所福祉その意識と実態調査」協力依頼と「検証報告研修会」を11月15日開催予定を説明する
09/25	<ul style="list-style-type: none"> ・県コミュニティづくり推進協議会に出向き、事業の経過報告をする 市社協にも、同様の報告をメール送信する ・大日三協株式会社より、「調査報告書」の見積書受け取る 併せて、作業工程表受け取る
10/03	<ul style="list-style-type: none"> ・本日より、調査個票回収開始
10/10	<ul style="list-style-type: none"> ・9月港第14自治会町内会長会議に出席し、「調査協力呼び掛け及び検証報告研修会参加呼び掛け」をする
10/13	
10/17	<ul style="list-style-type: none"> ・第5回IT部会開催
10/21	<ul style="list-style-type: none"> ・「研究会通信第13号」編集発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施 ・助成事業関係団体に現状報告実施 ・10月(第19回)定例研究会開催 ・10月港地区民協定例会にて、調査経過報告及び検証報告研修会の案内をする
10/23	<ul style="list-style-type: none"> ・助成団体(焼津市社協・県コミ推協)及び、港地域づくり推進会へ、調査活動経過報告及び検証報告研修会を連絡する
11/07	<ul style="list-style-type: none"> ・研究会会員へ、調査活動・検証報告研修会の経過報告実施
11/09	<ul style="list-style-type: none"> ・助成団体(焼津市社協・県コミ推協)及び、港地域づくり推進会へ、「検証報告研修会」開催の案内を送付する 市V連内各団体に11/15研修会チラシ配布
11/11	<ul style="list-style-type: none"> ・県コミュニティづくり推進協議会へ、現在までの活動の経過報告をする
11/15	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津市社協に出向き、現在までの活動の経過報告をする
11/16	<ul style="list-style-type: none"> ・「11/15研修会」に関するマスコミ対応(15社)
11/18	<ul style="list-style-type: none"> ・第6回IT部会開催 (これまでの経過報告と報告書作成に向けた展開確認)
11/21	<ul style="list-style-type: none"> ・「第1回公開型研修会(2019・活動検証報告)」開催 ・研究会通信第14号編集作業・発行 関係機関・団体等にメール送信実施
11/25	<ul style="list-style-type: none"> ・11月港地区民協定例会において、「調査協力お礼」「11/15研修会お礼」をする ・11月(第20回)定例研究会開催(データ考察①) ・「研究会通信第14号」編集発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施

	<ul style="list-style-type: none"> ・港第14自治会町内会長会議で「調査協力お礼:」「11/15 研修会お礼」を申し上げる ・港第14自治会第12町内会行事協力要請あり ・焼津市社会福祉協議会に、「令和2年度助成事業」実施状況及び、「第1回検証報告 研修会」終了報告
12/07	・静岡県コミュニティづくり推進協議会、焼津市社会福祉協議会に、調査最終回収枚
12/12	数345枚単純・クロス集計データ資料送付
12/19	・「調査設問 29」(自由回答)のまとめ方の確認
12/22	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県コミュニティづくり推進協議会に現在までの事業報告実施 ・12月(第21回)定例研究会開催(データ考察②)
12/23	・港第14自治会第12町内会事業協力
12/25	・「研究会通信第15号」編集発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施
12/26	・「報告書」執筆作業(～1/25)
12/27	・焼津市社会福祉協議会及び静岡県コミュニティづくり推進協議会に、活動状況報告
1/2	・港第14自治会町内会長会議にて「通信15号」配布
1/4	・港第14自治会第12町内会事業協力(折り紙教室)
1/5	・港第14自治会第12町内会事業協力(折り紙教室)
1/8	・第2回公開型研修会開催要項検討作業
1/12	<ul style="list-style-type: none"> ・焼津福祉文化共創研究会通信第16号編集作業実施 ・みずほ教育福祉財団寄贈の「プロジェクター・スクリーン」使用状況(活動)報告書提出
1/16	出
1/20	・大日三協株式会社(印刷業者)との協議
2/4	・焼津市社会福祉協議会及び静岡県コミュニティづくり推進協議会との連絡調整
2/6	(助成事業報告書提出に向けて)
2/14	<ul style="list-style-type: none"> ・1月(第22回)定例研究会開催 ・大日三協株式会社(印刷業者)に入稿
2/28	<ul style="list-style-type: none"> ・「調査報告書」納品 ・助成事業実施報告書提出 ・「研究会通信第17号」編集発行、関係機関・団体等に配布・メール送信作業実施 ・2月(第23回)定例研究会開催 ・「調査報告研修会」開催
	●焼津市V連絡協議会・代表者会議出席(奇数月)

10. 活動の成果

- (1) 本事業は、住民主体に、「調査個票の作成」「調査の展開」「データー入力」「単純・クロス集計分析」等、会員相互の連携で、手づくりの調査活動に取り組むことが出来た。

年間計画に基づき、「定例研究会」他に、関連団体との連携、本会内に「調査研究部会」を新たに設置し、事業の円滑化に務めた結果、地域住民に対して「IT」(HP、ブログ)による地域問題を発信する広報啓発領域が拡大され、身近な地域問題への関心が高まった。

- (2) 約5,000世帯をもって組織化された「港地域づくり推進会」(第14・23自治会)管内における「ご近所福祉その意識と実態調査」事業に取り組んだ。

コロナ禍の厳しい状況下であったが、会員の創意工夫により、360枚の調査票を配布し、150枚の回収目標の事業計画であったが、地域住民の関心度は高く、回収率95.8%、345枚の調査票を回収出来た。年代別、性別、領域別、居住歴別、家族構成別等幅広い基本属性をもとに、管内住民の意識と実態を把握することが出来た。主には、男性47.8%、女性51.3%と男性からの積

極的な回答が得られた。ほぼ、既婚者、持家の住民からの回答であった。年代別では、60代～70代は26%前後、20代～30代は7%前後、40代～50代は13%前後とやや関心が薄い状況が明らかになった。

- (3) 関係機関・団体等との協働（専門性と市民性の融合）により、調査結果を、「ご近所福祉その意識と実態調査報告書」（A4版 88P 第1章から第5章の組み立て）として取りまとめ、広く調査に協力いただいた関係団体・関係者に呼びかけ、「集まる学習の場」をもとに、「公開型報告研修会」を開催し、調査活動の意義とプロセスを通じて、調査結果から浮き彫りになった課題を共有し、改善解決に向けた呼び掛けをすることが出来た。
- (4) 報告書配布計画に基づき効果的配布をし、港地域づくりの基盤体制維持に向けた課題提起をする地域環境が整った。特に、自治会、民生委員児童委員協議会、町内会等に、今回の結果考察を情報提供することにより、今後において「地縁団体」と「志縁団体」との「協働」がさらに一歩改善の兆しが見えてきた。
- (5) 浮き彫りになった「地域課題」を広く地域住民に情報提供する機会が出来た。さらに、具体的な活動展開をするために、次年度の活動計画策定に反映する糸口が出来た。

1.1. 今後に向けた課題

- (1) 「地域を知る」「地域活動の見える化・わかる化」を本事業で、広く地域団体・関係者に働きかけることは出来た。しかしながら、地縁団体の現状で、任期1年または2年で退任する当り職的關係者に、いかに、継続的につなげることが出来るか、現状ではなかなか難しい側面がある。引き続き、「地縁団体」との協働連携を維持し、「本会」（「志縁」）の活動の取り組みを積極的に啓発し、地域活動に、ともに参画する地域づくりに向けて、地域市民に積極的に働き掛けなければならない。
- (2) 本事業により、明らかになった「課題」を、日常生活の中で、改善・解決するための情報提供の仕組みをさらに検討していかなければならない。そのために、「本会ブログ」と管内自治会HPとをリンクし、若い世代層に、いつでも情報を発信できるように努力したい。
*すでに、作業は進んでいる。焼津市社会福祉協議会HPに、各種団体とリンクする仕組みを明確にすることを望む。
- (3) 関係機関・団体（行政等）が、「地域」をどこまで、把握し理解しているのかである。こうした活動結果を積極的に提供することが必要と感じる。また、常に情報を共有できることを期待したい。